

令和4年5月 上市町教育委員会 定例会 議事録

日 時 令和4年5月23日（月）午前9時00分～午前10時04分

場 所 上市町役場2階 第1会議室

1 開会

2 教育長の報告

新型コロナについて、各小中学校でも感染者は出ているが、感染対策の結果、濃厚接触者は出ていない。

全国町村教育長会議が開催された。本年、小学校では2教科でデジタル教科書が使用されているが、令和6年度の教科書改訂を迎え、文科省はできればデジタル教科書としたいとの意向を持っているが、賛否両論があり議論がなされている状況にある。小学校の教科担任制については、国としては4年間で人材を確保していくとのことであった。

また、教員の働き方改革について8月から10月あたりで勤務実態調査が実施される。少しずつ勤務時間は短くなってきているのではないかと思うが、マスコミで報道されたような、勤務時間を少なく報告するといったことがあれば、これは処分対象にもなりかねないことであり、注意すべきことである。

現在、上市中学校では生徒の意見も取り入れながら、校則の見直しに取り組んでいる。服装や髪形など新しい校則により学校生活が行われることとなる。

3 教育委員会定例会 会議記録の報告

4 議事

（1）令和4年6月町議会に提出される予定の議案に対する意見について

（委員）

生涯学習会館の築年数は。改築等の予定はあるのか。

一 昭和63年建設である。築年数からすると、そろそろ大規模修繕等が必要となってくるが、小学校の再編・統廃合、それに伴う校舎建設等の行方を見る必要もあると考えている。

（2）教員の働き方改革について

[説明]

事前に資料として「町内小中学校登下校時間及び教員勤務時間」を配布させていただいた。このことももとに、働き方改革の具体的な提案をいただければと考えている。

（委員）

学校の統廃合とも関係することではあるが、子どもの数が減少する中、1学級の人数が減っており、多人数と比べ教員の負担は減っていると思われる。1学級の現状の人数が維持されれば負担は減るのではないか。

（委員）

各学校での働き方の見直しの内容を定期的にまとめていくことで、意識の向上につながると思う。

理解の早い子、遅い子がいる中で、業間の時間も配慮が必要な場合もある。それぞれに上手に時間短縮をされているが、空回りしないよう注意と、児童生徒に浸透するようにフォローが必要である。

(教育長)

確かに子どもたちの状態を把握しながら、見直していくことが大切であり、学校に促していきたい。

(委員)

清掃がある日とない日があると、子どもたちは生活のリズムが取りづらくなるのではないか。

(委員)

清掃など、何を目的にしているのかについて、時間マトリックスなどにより整理する必要があるのではないか。働き方改革とは何なのか。本業以外の部分をどう改善するのか。会議の中身など、ただ時間を減らすだけではなく、保護者対応や校下の活動などに時間が取られていないかなど、精査する必要がある。

(教育長)

それぞれの活動の目的を確認していきたい。

(委員)

もう少し本音で管理職と一般の教員が意見を交わさないといけないのではないか。

(委員)

学校教育においては、子どもたちのことが最重要事項であり、人格形成のうえで大切なことをしっかりとしていく必要がある。時間を掛ければよいというものでもない。

(教育長)

もちろん教育の本質において、時間のみ見直すことは適切ではないと思う。各校長に各校、子どもたちの実態に応じて取り組めるように伝えていきたい。

## 5 報告・その他

(1) 小学校のあり方懇談会（相ノ木校区）での意見等について

(2) 部活動の地域移行について

(3) 令和4年度富山県市町村教育委員会連合会総会等について

(4) 奨学資金調査会委員の互選について

— 高島委員を選任

## 6 閉会